

学校評価【教員アンケート結果・総評】

A. 学習指導【①教育課程・指導体制、②学習・学力】

本校は、中学時代不登校であった生徒や基礎学力が定着できていない生徒が大半である。年度初めにシラバスを作成し教科ごとに目標を設定して授業が展開されている。しかし、基礎基本を重視にした授業を行うとその通りに進まないのが現実であり課題である。家庭学習の定着を目標とした課題を出している教員が30%しかいない。計画的に授業を展開し毎回少しずつ課題を出して家庭学習の定着に図る必要がある。各種検定試験の補習では、放課後個人懇談、クラブ活動があり補習の時間確保が難しい。検定試験日は年間で決定されているので、年度初めにクラブ顧問等と相談し補習期間を確保すべきだ。生徒が検定試験学習に励むように計画を立てる。分かる授業を目指しマンネリ化の授業にならないように教材研究に邁進し創意工夫している。特にパソコンやプロジェクターを使用して授業展開している。このような授業がこれからも増えることを望んでいる。

B. 生徒指導【①指導体制、②学校生活】

災害時・緊急時の避難経路が生徒に周知されていない、教室の掲示板に掲示されているだけである。2学期9月に「大阪880万人訓練」に参加し地震津波の災害の避難訓練をしているが、コロナ禍のため放送によるものであった。実際教室を出て避難場所まで行く必要がある。放課後のクラブ活動時間が確保されていない現状は、上記のAで検定試験補習の時間確保と同じである。クラブ活動、検定補習と調整する必要がある。そのためには、年度初めに計画を立て運営することである。生徒が過ちや悪いことした時、きちんと注意し指導出来ているのは、生徒と教員、保護者と教員の信頼関係が構築されているからだと言える。

C. 進路指導【①キャリアガイダンス、②進路状況】

生徒への進路情報提供は、①毎週の「進路」授業、②毎月の進路だより、③宿泊行事前の保護者進路説明会、④毎学期の保護者懇談を通して定期的実施している。その他に進路指導部から就職や進学の情報提供されているが、生徒にとっては適切でない場合がある。それは、すぐに情報を確保したいが出来ない。情報の提供が遅い場合などである。生徒一人ひとりに進路の目標を持たせることは、なかなか難しい問題で、自己肯定感の低い生徒が多い中、将来の目標を持たせるようにするには、日ごろの生活の中で目標を持たせそれを達成して行くという成功体験を積み重ね自己肯定感を上げることだと考える。また、社会に眼を向けさせ大人の働いている姿を通して、自分に何が向いているか自分は何ができるかを考えさせ、身近な目標を持たせるように導くことが重要だと考える。

D. 新型コロナウイルス感染症の防止対策

今年度は昨年度のように緊急事態宣言が発令されることなく、ある程度コロナ前の学校生活に戻ってきた。油断することなくすべての教員が感染防止対策に努め活動を進めてきた。引き続き、日々の健康日誌検温の記入、教室等の消毒、換気には力を入れた。また、陽性者、濃厚接触者、発熱者、風邪症状の生徒、ワクチン接種生徒、副反応生徒は出席停止扱いとした。混乱もなく対応ができた。これからも教員一致団結して感染防止対策に取り組んで行く。

E. 施設の維持管理【①点検・改善、②維持・管理】

法令に定められた防火設備、防犯設備の点検などは定期的実施している。点検時は、授業の妨げにならないように春、夏、冬の長期休暇中に点検している。玄関、通用門、別館事務所に防犯カメラが設置され

ていないので、不審者の侵入防止等から早急の設置が必要である。

F. 危機管理体制【①生徒の安全管理、②防災体制】

登下校の安全について、学校周辺道路は車の交通量が多いので、自転車の通学路を設定し安全に努めている。特に自転車での交通事故防止については登下校学校周辺に教員が立ち生徒の安全を見守っている。しかし、下校時に立ち番に付けない場合があるので、必ず付けるようにしなければならない。エピペンを所持している生徒が複数おり、4月の新学期を迎える前に全教員がエピペン講習を受けエピペンの使い方、生徒がアナフィラキシーになった場合の緊急対応など研修を実施した。併せてAEDの講習も実施した。

G. 学校行事

令和4年度は、まだコロナの影響があり4月予定の修学旅行は実施出来なかった。6月以降の宿泊行事は年度初め通りの予定で実施出来た。宿泊行事、校外学習をはじめ全ての学校行事は、生徒の人間性の向上や社会生活の準備に役立つことを目的としている。

H. 公開性及び外部への対応【①保護者対象、②一般対象】

6月に公開授業、各宿泊行事前には宿泊説明会と保護者進路説明会を実施した。9月に文化祭、10月に体育祭（短縮）を実施し、多くの保護者が参加した。地域との交流では、11月の「平野区民祭り」に演技者として参加したのではなく、会場の設営、撤去、ごみ収集等のボランティアで参加し地域の方と交流出来たと思われる。この活動は今後も進めて行く予定である。中学校への出前授業は、依頼がある場合は全て受け入れ、パソコンを使った授業を実施している。

I. 新型コロナウイルス感染症

日々のコロナ感染防止対策を徹底して行った。学校行事の変更や大阪府教育庁からの伝達についても速やかに保護者へプリントを配布しホームページを用いて公開した。昼食では、昼食前に手洗いの励行に努め、全員前を向いて黙食に取り組んだ。消毒については、必ず使用した教室の机、椅子など消毒することを徹底した。